

全国の代表河川におけるフレッシュ度

(水量の単位はいずれもm3/s)

地区名	河川名	評価地点	上流域			下水処理場等数 ³		河川流量 ⁴		既使用水量 ⁵		フレッシュ度 ⁶	主な水道事業者名	給水人口 ⁷	
			面積 (km ²) ¹	人口 (万人) ²											
北海道	豊平川	白川地点	519.2	0.2	H10	1	H11	11.9	S63-H9平均	0.15	生活：H10 下水：H11 工場：H15	98.7%	札幌市	170万	H12
東北	名取川	山田地点	425.9	1.9	H12	2	H15	8.6	H12	0.13	生活：H12 下水：H12 工場：H5 畜産：H12	98.5%	仙台市	4.4万	H12
関東	多摩川	羽村地点	487	1.8	H8	1	H13	10.0	H14	0.06	生活：H8 下水：H13 工場：H8 畜産：H8	99.4%	東京都	210万	H15
関東	多摩川	田園調布地点	1,204	270	H8	11	H13	8.3	H9,H10	6.06	生活：H8 下水：H8 工場：H8 畜産：H8	27.0%	東京都	0	H15
関東	利根川	利根大堰	6,018	190	H7	25	H13	114.3	S61-H7平均	17.23	生活：H7 下水：H13 工場：H7 畜産：H7	84.9%	なし		
関東	利根川	木下地点	12,458	530	H7	69	H13	91.4	S61-H7平均	26.87	生活：H7 下水：H13 工場：H7 畜産：H7	70.6%	千葉県 印旛広域水道企業団	130万	H14
関東	利根川	小見川地点	13,521	620	H7	73	H13	68.7	S61-H7平均	22.13	生活：H7 下水：H13 工場：H7 畜産：H7	67.8%	小見川広域水道企業団	3.4万	H14
関東	江戸川	下矢切地点	8,766	380	H8	43	H13	26.1	H5-H14平均	5.60	生活：H10 下水：H10 工場：H10-H11 畜産：H10	78.5%	千葉県	105万	H15
関東	荒川	秋ヶ瀬地点	2,021	190	H8	6	H13	55.2	H5-H14平均	13.81	生活：H8 下水：H13 工場：H8 畜産：H8	75.0%	東京都 埼玉県	290万 330万	H10
北陸	阿賀野川	安野川合流後	7,361	42	H12	27	H12	267.1	S62-H14平均	2.46	生活：H12 下水：H12 工場：H12 畜産：H12	99.1%	豊栄市、新潟市	3.0万	H15
中部	木曾川	加賀野井地点	4,956	42	H13	28	H13	80.5	H13	2.90	生活：H14 下水：H14 工場：H14 畜産：H13	96.4%	名古屋市	90万	H14
中部	天竜川	船明ダム	4,798	65	H13	24	H13	163.3	H13	4.07	生活：H10 下水：H10 工場：H10 畜産：H13	97.5%	浜松市	42万	H14
近畿	淀川	柴島地点	7,511	636	H14	18	H14	130.8	H11	54.00	生活：H14 下水：H14 工場：H14 畜産：H14	58.7%	大阪市	261万	H14
中国	芦田川	中津原地点	648	11	H15	1	H15	6.0	H13	0.40	生活：H13 下水：H15 畜産：H13	93.3%	福山市	27万	H14
四国	重信川	垣生地点	445	7.3	H13	0	-	1.1	H13	0.28	生活：H13	74.5%	松山市	4.7万	H13
九州	大淀川	柏田地点	2125	33	H12	13	H12	50.9	H2-H12平均	1.42	生活：H12 下水：H12 工場：H5 畜産：H12	97.2%	宮崎市	30万	H14
九州	筑後川	福岡導水取水地点	2295	59	H7	12	H13	45.6	直近20年第2位	2.98	生活：H7 下水：H7 工場：H7 畜産：H7	93.5%	福岡地区水道企業団	210万	H12
九州	遠賀川	猪熊地点	938.6	49	H13	14	H13	6.3	H10-H14平均	1.79	生活：H13 下水：H13 工場：H13 畜産：H13	71.6%	北九州市	9.6万	H12

注：この数値は試算値であり、今後精査していくこととしている。

- 1 評価地点の上流（支川を含む。）の流域の面積。江戸川については、利根川分も考慮に入れた。
- 2 評価地点の上流（支川を含む。）に生活排水（下水処理水等を含む。）を排出する人口。江戸川については、利根川分も考慮に入れた。
- 3 評価地点の上流（支川を含む。）に排水する下水処理場、し尿処理場等の数。江戸川については、利根川分も考慮に入れた。
- 4 評価地点における低水流量。
- 5 評価地点の上流（支川を含む。）に排出される生活排水、下水処理場等排水、工場排水及び畜産排水の量。かんがい用水は考慮していない。利根川下流については江戸川への分派分を除いた。
- 6 $(1 - \text{上流での既使用水量} / \text{河川流量}) * 100\%$
- 7 評価地点付近からの取水により給水を受けている人口（現在給水人口）である。浄水場に複数の水源がある場合には、取水量に応じて按分した。